

令和4年3月11日 18時30分～

himitsu kitchen 結

1. 役場 課長あいさつ

2. まとめ資料について作成中間報告

- ・委員のみなさんの次につなげるという思いが強いことから、タイトルを「結」とした。
- ・クレヨン調で目次、委員の感想、会議の様子、成果という構成にした。
- ・成果の中の「課題整理」が難しいテーマであることから、役場と相談し、「次につなげるためにはどうなったらいいか」というポジティブな考え方（アイデア）でどうかという考えに至った。

3. 来年度についてと今年度の感想

【来年度について どんな会なら参加したいか（参加する・しないに関わらず）】

- ・座談会が前向きで楽しい場であり、自分たち実行委員会が主催者として、どうしたらそういう場にできるかを考えたり、基本条例をもう一回読み返して考え直す場でもいいかなと思った。
- ・役場職員の中で町民と同じ立場（業務外）で参加する職員が3名いれば、楽しくなるし参加してみたいと思う。
- ・テーマが明確にあったり、コーディネートしてくれる人がいれば、うまく積みあがるのではないかな。
- ・公開会議のような感じでいろんな人たちが参加でき、それが条例の浸透につながる。
- ・条例の概念や理解を深めるのではなく、東栄町の特徴を掘り起こして人を集めることをやってみたい。
- ・テーマや場所を変えながら異業種交流会のような新しい発見や情報、新しい関係がつけられる機会。
- ・大きなイベントではなく、数人のメンバーで毎回まちづくりについて自由にトークする場。
- ・マークを考えたり、クイズを考えて答えてもらったり、寸劇風の動画を作ったり、実際に困ったことについて解決方法を考えたりする機会。
- ・役場のいろんな課や観光まちづくり協会も交えて役割分担をしながら、一緒に進んでみるとかたちになるかもしれない。

【委員の感想】

- ・過去の委員が年々減少していったという経緯があったが、いなくなった委員の人たちは自分たちのまちづくりにいったという理解でマイナスには感じなかった。
- ・YouTubeに動画、散歩などみんなで開催して色々見つけるなどアイデアが出たけれど、話合いで終わってしまったので、具体的に動きたかった。
- ・この会議はみんなを取り回したり、まとめを委託して作るなど、「対役場」ではなく同じテーブルで話げできたのでとても新鮮だった。
- ・いい意味でも悪い意味でも自由度が高いこともあって、堂々巡りだった。
- ・今年度のよかったことは、場所を変えられたことやプロセスも小さく始められることから考えようということ、みんな運営していこうという組織ができたこと。
- ・それぞれが自由に発信し、それを皆さんがリスペクトすることがよかった。
- ・みんなが自由に意見を言えたこと、意見に耳を傾けたこと、条例を改めて学び、わかりあえたことが財産。
- ・これまで基本条例をここまで掘り下げたり、委員の中で調べたり、説明をすることがなかった。
- ・普段の仕事の中では出会えない方と意見交換ができてよかった。